

# かわさき水ビジネスネットワーク 2020年度の活動報告について

2021年7月2日

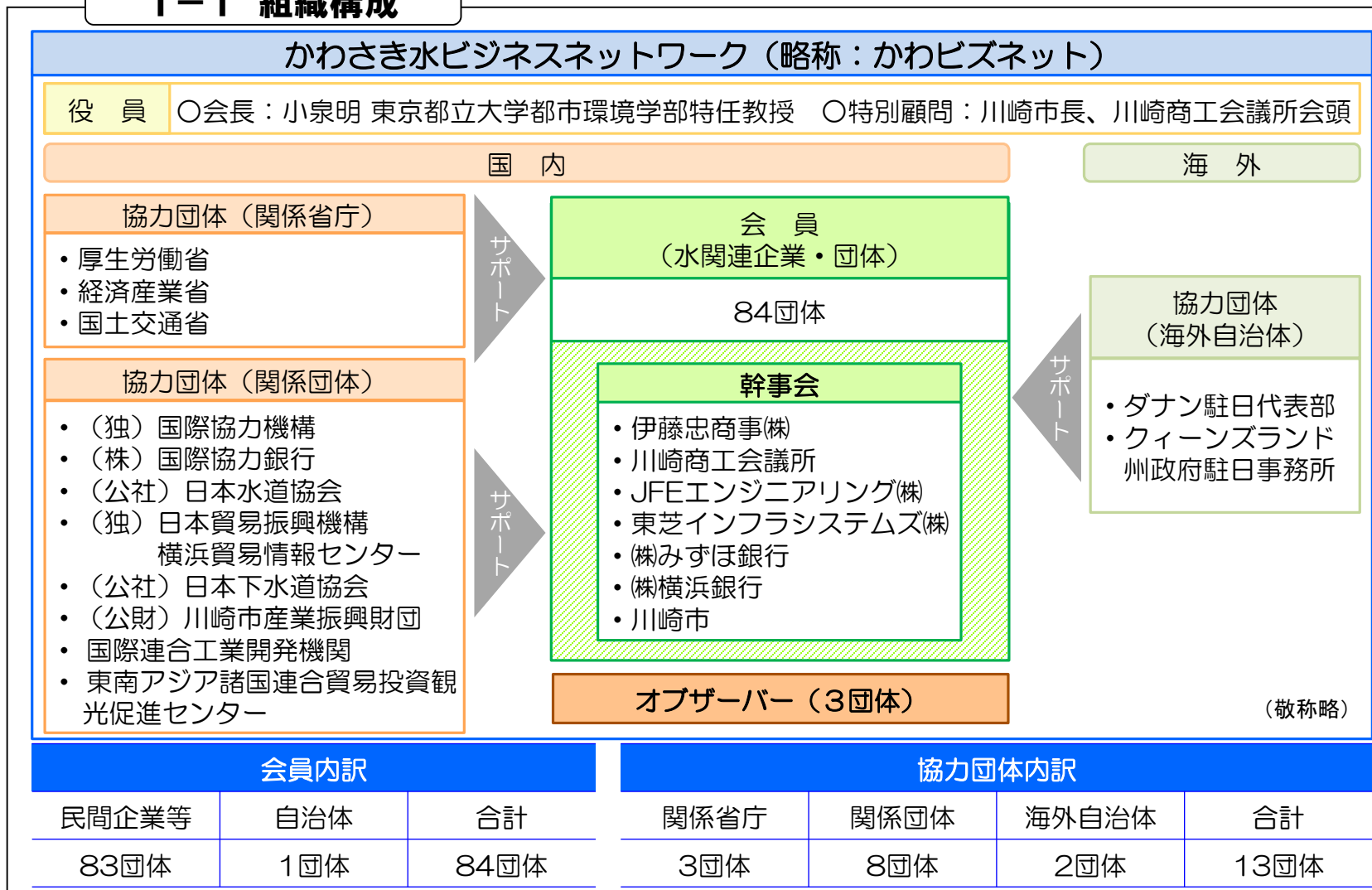
かわさき水ビジネスネットワーク事務局

## はじめに

- 1 組織構成
- 2 活動モデル
- 3 会員の入退会について
- 4 新型コロナウイルス感染症について

# 1 かわさき水ビジネスネットワークの組織構成

## 1-1 組織構成



## 2 かわさき水ビジネスネットワークの活動モデル

### 1-2 活動モデル

#### 水ビジネスの基本的な流れ

ニーズ把握

スキーム構築・実施可能性調査

事業実施

現地  
調査

ニーズ  
把握

チーム  
形成

ビジネス  
モデル形成

実施可能  
性調査

受注  
事業化

建設  
完成

運転  
維持管理

#### ニーズ把握

- ◆ ニーズ調査
- ◆ G to G関係に基づくニーズ調査の支援
- ◆ ミッション団の派遣

#### スキーム構築・実施可能性調査・事業実施

- ◆ 調査・事業実施に向けたチーム形成のコーディネート
- ◆ G to G 関係の構築による調査・事業実施の環境整備
- ◆ 上下水道の事業運営に係る技術・ノウハウの提供
- ◆ 国・関係団体と協力した政策・制度面での支援

#### 情報提供・情報発信

- ◆ メール配信やHPを通じた情報提供
- ◆ 国際展示会等でのかわBizネットPR
- ◆ HPを通じた国内外への情報発信
- ◆ セミナー、交流会等の開催

### 3 会員の入退会について

#### ▶ 入会について

2020年度の新規入会:2会員

〈新規会員〉

- ・阿波製紙株式会社様
- ・株式会社堀場アドバンスドテクノ様

#### ▶ 退会について

2020年度の退会:なし

## 4 新型コロナウイルス感染症について

かわさき水ビジネスネットワークの主な活動対象国における2021年6月30日現在での新型コロナウイルスに関する情報は、下表のとおりとなります。これにより、昨年度から各プロジェクトは事務手続や活動等の一部を中断しております。

	インドネシア	ラオス	ベトナム
外務省感染症 危険情報	レベル3(継続) (渡航中止勧告)	レベル2(継続) (不要不急の渡航は止めてください)	レベル2(継続) (不要不急の渡航は止めてください)
日本からの 渡航者に対する 主な措置※1	<p>入国が認められるのは一時滞在許可(KITAS)や定住許可(KITAP)の保持者、有効な訪問査証や一時滞在査証の保持者等であり、入国の際に以下の措置を実施。検疫当局による体温測定、e-HAC(電子ヘルス・アラートカード)に入力された出発時刻前72時間以内に検体採取されたPCR検査の陰性証明書・健康証明書を確認。その後5日間、外国人は、政府が認定した宿泊施設で、自費で待機。隔離1日後及び5日後、PCR検査を受検し、結果が陰性であれば、移動許可。</p>	<p>新型コロナの市中感染国(日本を含む)を出発・経由した渡航者の入国を禁止する。ラオスへの入国が許可される場合、以下の措置を厳格に遵守。 ①出発前72時間以内に発行されたRT-PCR法による新型コロナウイルス陰性証明書を提出②ラオス入国時にRT-PCR法による新型コロナウイルス検査を受け、対策特別委員会が指定するモニタリング機器を装着し、新型コロナウイルス感染症保険に加入③新型コロナウイルス検査の陰性結果が出た場合でも、対策特別委員会指定の滞在場所にて14日間自己隔離し、感染予防対策を厳格に実施。</p>	<p>全ての国・地域からの外国人の入国を停止(但し、外交旅券、公用旅券所持者、その他特別な場合(①重要な外交活動に参加、従事する外国人②専門家、企業管理者、高技能労働者等)には、必要に応じ査証を発給。②は、居住国の権限ある陰性証明書を提示し、政府の承認を得る。)。ハノイやホーチミン空港では国際線旅客便の受入を停止。 また、入国には、入国承認等の事前申請・取得／一時在留カード(TRC)又は査証の事前申請・取得／入国前24時間以内のオンラインでの医療申告などが必要。</p>
感染者数※2	2,178,272名	2,121名	16,507名
死亡者数※2	58,491名	3名	80名

※1外務省海外安全ホームページ内新型コロナウイルス関連情報より一部抜粋

※2Johns Hopkins University ホームページの掲載値を引用

## 2020年度 活動報告

- 1 案件化に向けた取組
- 2 会員への情報提供等
- 3 海外への情報発信
- 4 海外における川崎市の取組

# 1 案件化に向けた取組

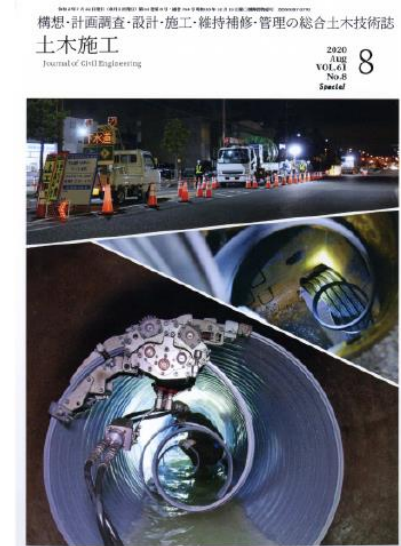
## ①国土交通省/下水道技術海外実証事業(WOW TO JAPANプロジェクト)の成果報告

プロジェクト名:『クラウドGISを活用した下水管路情報データベースの整備・構築』

事業実施者	(株)インフォマティクス、川崎市上下水道局、(株)建設技研インターナショナルの共同事業体
実証内容	インドネシア・バンドン市において、下水管路網に関わる情報をクラウドGISに取り込み、行政サービスの向上、新規管路布設及び更新・メンテナンスを含む維持管理計画の策定に活用するための実証事業を行う
実施期間	2019年9月21日～2020年3月19日

- ✓ 株式会社インフォマティクス、川崎市上下水道局、株式会社建設技研インターナショナルのコンソーシアムが、2019年度に実証事業を実施
- ✓ 取組内容が業界誌「土木施工」(2020年8月)に掲載
- ✓ 本技術の普及に向けて、インドネシア国内における円借款事業の動きに関する情報収集を実施

土木施工 (2020Aug Vol61 No.8)





# 1 案件化に向けた取組

## ②JICA/中小企業・SDGsビジネス支援事業～案件化調査(中小企業支援型)～の実施準備

プロジェクト名:『ベトナム南部経済圏における環境配慮型プレハブ方式ステンレス配水池導入に関する案件化調査』

事業実施者	(株)ベルテクノ、外部人材(川崎市上下水道局、かわBizネット会員企業等)
調査内容	水需要が急増するベトナム南部経済圏(バリア・ブンタウ省など)におけるステンレス配水池の継続的な導入を目指し、ビジネス展開計画の策定とその実現可能性を調査する。「ベトナムの安定給水への貢献」と「普及・実証事業を通じた調査完了後の具体のビジネス機会の実現」を目標とする。
実施期間	契約後約1年間

- ✓ 株式会社ベルテクノの提案が2019年8月に採択され、外部人材として会員企業(1社)とオブザーバー(1社)及び川崎市が協力予定
- ✓ 2020年12月に1回目の契約交渉をするも、コロナ禍等で契約は一時中断。2021年度中の実施に向け調整中



ステンレス配水池(写真提供:(株)ベルテクノ)

## 2 会員への情報提供等

### 2018年度

- ✓「～各種中小企業支援制度で海外展開を目指す！～環境ビジネス海外展開セミナー」の開催(2018.12.6)
- ✓「水・環境ビジネス海外展開セミナー」の開催(2019.2.25)
- ✓メールによる情報提供(随時)

### 2019年度

- ✓モンゴル都市建設開発センターとのビジネスマッチング(2019.11.26)
- ✓「かわさき水・環境ビジネス海外展開セミナー～SDGsとビジネス～」の開催(2020.2.13)
- ✓メールによる情報提供(随時)

### 2020年度

- ✓水ビジネス海外展開Webセミナーの開催(2021.2.12)
- ✓かわbizネットホームページのリニューアル
- ✓メールによる情報提供(随時)

### かわbizネットの情報発信ツール

かわbizネットでは専用ホームページや専用メーリングリストを通じた会員の皆様への情報提供や、国内外への情報発信を行っています。(2020年度にスマホ対応しました。)

<https://www.kawabiznet.com>

### 2020年度にリニューアルしました！



## 2 会員への情報提供等

### ①水ビジネス海外展開Webセミナー ～NEDOの事業とその活用事例～の開催

- ✓ 官民連携による国際展開を推進する機会を創出するため、会員からのニーズの高い、水循環関連国際実証事業などを所管する『NEDO事業』について、そのスキームと活用事例を紹介するセミナーを実施

#### 日程・会場

2021年2月12日(金) 15:00ー16:40 オンライン(Webex)

#### 参加者数

かわBizネット、クラスター会員含む 約50名

#### 内 容

##### 講演①

「NEDOの事業とスキームの紹介」

(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO))

##### 講演②

「タイ国における高品質工業用水と国内における新型MBRによる下水処理の実証事例の経過」

(前澤工業株式会社)

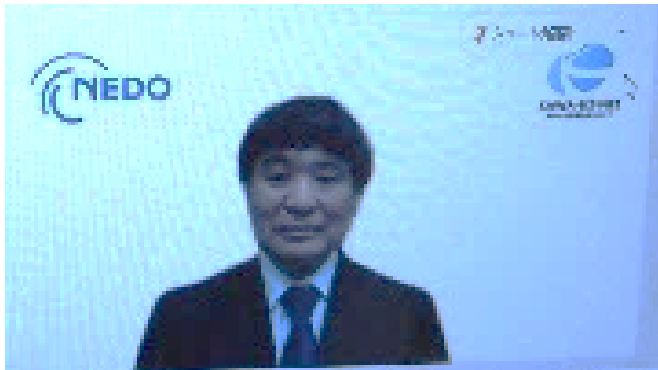
##### 講演③

「超低消費電力データ収集システムにおける回転機器予知保全ソリューションの実用性検証」(株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター(DSPC))

## 2 会員への情報提供等

### ②水ビジネス海外展開Webセミナー ～NEDOの事業とその活用事例～の開催

#### 講演①



国立研究開発法人  
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

#### 講演②



前澤工業株式会社

#### 講演③



株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター  
(DSPC)

#### 主催挨拶



川崎市上下水道局

## 2 会員への情報提供等

### ③メール配信による会員への情報提供(随時)

✓ 会員への情報提供回数: 77回

#### 《内訳》

##### ■ セミナー・報告会等の開催案内(42件)

- ・ JICA「課題発信セミナー(オンライン)」のご案内
- ・ JETRO「インドネシア・水インフラビジネス オンライン個別商談会」のご案内 ほか

##### ■ 関係省庁・団体の調査案件等の募集(15件)

- ・ JETRO「インフラシステム輸出に向けたビジネスミッション開催事業」の今年度公募について
- ・ 令和3年度下水道技術海外実証事業(WOW TO JAPANプロジェクト)の公募について ほか

##### ■ お知らせ(20件)

- ・ 「第13回・川崎国際環境技術展(オンライン開催)」出展者募集のお知らせ
- ・ 経済産業省「水ビジネス海外展開施策の10年の振り返りと今後の展開の方向性に関する調査報告書」の公開について ほか



### 3 海外への情報発信

#### ①第13回川崎国際環境技術展でのブース出展



- ✓ 2021年1月21日(木)～2月5日(金)にオンライン開催された「第13回 川崎国際環境技術展」に、上下水道局とともに、かわBizネットのブースを出展
- ✓ 海外や日本の企業、市民等の閲覧者に対し、かわBizネットの活動をPR(訪問者数87人)
- ✓ 『かわBizネット事業紹介カタログ』の掲載
- ✓ 『かわBizネット紹介プロモーション・ビデオ』の放映



メインブース



かわBizネットの国際展開の取組紹介

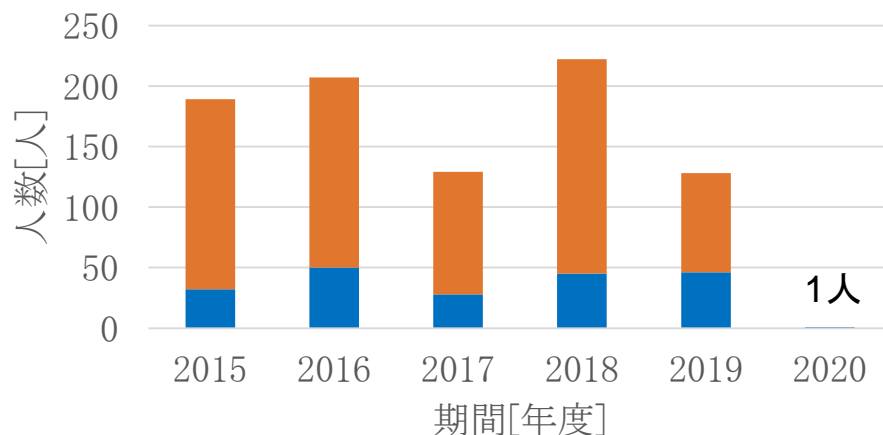
### 3 海外への情報発信

#### ②海外からの研修生・視察者の受入機会を通じた情報発信

✓ コロナ禍による海外からの渡航制限等に伴い、2020年度の研修生・視察者の受入は1名。

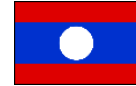
《受入実績》		2019年度	2020年度
総 数		29の国・地域、128名	1の国・地域、1名
内 訳	研修生	20の国・地域、46名	1名
	視察者	14の国・地域、82名	0名
	国・地域	中国(22)、ラオス(19)、モンゴル(15)、 パプアニューギニア(10) ほか	ラオス

受入実績の推移(2015年度-20年度)



ラオスからのインターンシップ受入

## 4-1 海外における川崎市の取組①(ラオス)



### 2018年度

- ✓ 2012～2017年度のMaWaSUに引き続き、JICA・ラオス「水道事業運営管理能力向上プロジェクト(MaWaSU2)」へ参画
- ✓ 厚労省主催「水インフラ輸出拡大に係る調査・検討一式」に参加

### 2019年度

- ✓ 専門家の派遣  
(長期1名, 短期3名)
- ✓ 「ラオスー日本水道 & MaWaSU2カンファレンス2020」でのかわBizネット会員のPRや会員のプレゼンを実施

### 2020年度

- ✓ **長期専門家(新任)の赴任・現地での活動**

### ◆ ラオスの概要

- ラオス人民民主共和国(Lao People's Democratic Republic)
- 東南アジアのインドシナ半島に位置する社会主義共和制国家
- 首都：ビエンチャン
- 人口：約701万人※、面積：約24万km<sup>2</sup>※
- **低い水道普及率(都市部において68%/2018年)**
- **水道事業は18の都県の水道公社に経営がゆだねられており、いずれも経営基盤がぜい弱である**



※出典：外務省ホームページ



## 4-1 海外における川崎市の取組①(ラオス)



### 川崎市

#### ラオス【水道分野】 JICA技術協力プロジェクトの取組

案件名	水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）
実施年度	2018年5月～2023年5月（5年間）
概要	ラオスの水環境改善に向けて水道セクターの管理体制と水道公社の能力を強化するために必要な基盤を整備する。
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期専門家の派遣（計2名）（サブチーフアドバイザー／水道技術）</li> <li>・短期専門家の派遣（計3名）（技術指針作成支援など）</li> <li>・研修生受入（計6名）（水質管理に関する講義・施設視察）</li> </ul>
実施体制	川崎市上下水道局・埼玉県・さいたま市・横浜市・JICA



長期専門家(2020年11月より赴任)



現地での技術指導(短期専門家)

## 4-2 海外における川崎市の取組②(インドネシア)



～2018年度

- ✓ マカッサル市
  - 現地調査の実施
  - JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）の採択・事業開始に向けた事前協議
- ✓ バンドン市
  - 現地調査・企業PRの実施
  - 官民共同ニーズ調査の実施

2019年度

- ✓ マカッサル市
  - MOM取り交わし完了・契約着手
  - Smart City Conference with JASCA※<sup>1</sup> in MakassarでのかわBiz会員企業紹介
- ✓ バンドン市
  - JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）の採択

2020年度

- 草の根技術協力事業
- ✓ マカッサル市
  - コロナ禍によりJICAとの契約交渉を一時中断
- ✓ バンドン市
  - 草の根事業の契約に向けMoM※<sup>2</sup>の内容を協議

※1 JASCA: 日ASEANスマートシティ・ネットワーク官民協議会 ※2 MoM: Minutes of Meeting (協議内容を示した書類)

### ◆ マカッサル市の概要

- スラウェシ島南部に位置し、東部インドネシア地域の最大都市
- 南スラウェシ州の州都
- 人口※<sup>3</sup>: 約145万人、面積※<sup>4</sup>: 約175km<sup>2</sup>
- 無収水率が40-50%と高く、出水不良や高い料金設定が課題

### ◆ バンドン市の概要

- ジャワ島西部に位置し、首都ジャカルタから南東140km
- 西ジャワ州の州都
- 人口※<sup>3</sup>: 約250万人、面積※<sup>5</sup>: 約167km<sup>2</sup>
- 経済発展に伴う河川の水質悪化が課題



## 4-1 海外における川崎市の取組②(インドネシア)



### 川崎市

#### マカッサル市【水道分野】 JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）の取組

案件名	マカッサル市における地下漏水対策実行能力向上プロジェクト ー水資源の有効利用に向けてー
実施年度	契約締結後3年間(コロナ禍により契約交渉中断中)
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ パイロットエリアにおける地下漏水調査計画の作成支援、 地下漏水調査及び漏水修理工事の実行支援</li> <li>✓ 水道公社職員の地下漏水発見能力の向上支援</li> <li>✓ 水道公社職員の漏水修理技術の向上支援</li> <li>✓ 活動成果及び漏水防止に関する 技術の共有・普及支援</li> </ul>
実施体制	川崎市上下水道局 かわさき水ビジネスネットワーク会員企業



現地調査（流量計設置箇所）<sup>18</sup>

## 4-2 海外における川崎市の取組②(インドネシア)



### 川崎市

#### バンドン市【下水道分野】

#### JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）の取組

案件名	バンドン市における水環境改善のための人材育成プロジェクト
実施年度	契約締結後3年間(契約の前段となるMoMの内容協議中)
主な活動	<p>住民の水環境に対する意識・知識不足を改善するための人材を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 水環境に対する啓発資料作成(住民向け)</li> <li>✓ 上下水道研修テキスト作成(職員向け)</li> <li>✓ 下水道セミナー・ワークショップの実施</li> <li>✓ 日本の技術・製品への理解促進</li> </ul>
実施体制	<p>川崎市上下水道局</p> <p>かわさき水ビジネスネットワーク会員企業</p>



バンドン市内の汚染された河川 19

## 参考資料 かわビズネット関連の主な活動記録(2020年度)

日 付	活 動
5月29日	第1回幹事会(書面開催)
7月17日～7月29日	2020年度総会(書面開催)
9月29日～9月30日	JICA留学生プログラム「水道分野中核人材育成コース」に係るインターンシップ受入
11月26日	第2回幹事会(オンライン開催)
12月9日	国土交通省 下水道技術海外実証事業(WOW TO JAPANプロジェクト)成果報告会
1月21日～2月5日	第13回 川崎国際環境技術展(オンライン)でのブース出展
2月12日	水ビジネス海外展開Webセミナーの開催
3月19日	日本水道協会-南アフリカ地方自治協会合同セミナーでの講演(川崎市上下水道局)